

頭部外傷

基礎知識	<p>頭部外傷の種類と病態</p> <p>頭部外傷の種類には、「頭皮の外傷」「頭蓋骨骨折」「急性硬膜外血腫」「急性硬膜下血腫」「急性硬膜下水腫」「外傷性くも膜下出血」「外傷性血管損傷」「外傷性脳室内出血」「脳挫傷、外傷性脳内血腫」「広範性脳損傷」があります。</p> <p>これらが単独であるいは複合して起こりいろいろな症状をもたらします。</p> <p>脳損傷の程度が強かったり、頭蓋内血腫があつたりすると脳浮腫がおこり、頭蓋内圧を亢進させます。頭蓋内圧が亢進すると脳血管循環が悪くなり、脳浮腫が増強しさらに頭蓋内圧が亢進します。進行すると脳ヘルニア、脳幹障害が起こり呼吸障害によって生命の危機的状態に陥ります。</p>
小児の特徴	<p>小児が事故を起こしやすい理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 軀幹に比し頭部が大きく重心が上方にあるため転倒しやすい。 ○ 身長が低いため視線が低く、相対的に視野が狭いこと、興味の対象に関心が集中し全体を見ることや、とっさの状況判断や危険予知能力が乏しい。 ○ 位置感覚把握能力が未熟である。 ○ 腕力が弱く、危険回避動作が遅れる。 <p>小児頭部外傷の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 頭部の軟部組織は薄く、剥がれやすいので腱膜下血腫や骨膜下血腫を作りやすい。 ○ 頭蓋骨が薄く、弾力性があるので割れにくいが陥没骨折や穿通外傷を起こしやすい。 ○ 大泉門、小泉門があり骨縫合の離開が容易なので頭蓋内圧亢進が起こりにくい。 ○ 頭蓋骨は軟らかく、骨と脳との間隔が少ないので直撃損傷を受けやすい。 ○ 架橋静脈が細く弱いので脳実質の変形により損傷されやすく、硬膜下血腫を起こしやすい。脳の発達が未熟なので不可逆的損傷を受けやすいが、その反面、障害部の機能は他の脳組織によって代償されやすい。 ○ 脳の局所症状が出にくく、脳浮腫が起こりやすい。
電話相談 対応 フロー図	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 頭をぶつけた・打ったとき（転倒・転落） </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 頭部受傷後泣かずに意識を消失した <input type="checkbox"/> 意識がない <input type="checkbox"/> 目をかろうじてあけるが視線が合わない <input type="checkbox"/> 耳から液（耳漏）の流出がある <input type="checkbox"/> 傷からの出血が止まらない <input type="checkbox"/> けいれんを起こした・起こしている <input type="checkbox"/> しばらくしてからくり返し嘔吐する <input type="checkbox"/> 呼吸がいつもと違う、していない </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1つでもあれば</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">救急車で病院へ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1つもない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <input type="checkbox"/> 打った部分がへこんでいる またはぶよぶよしている <input type="checkbox"/> 普段と様子が違う <input type="checkbox"/> 嘔吐があつてさらに元気がない </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 大きなたんこぶができた <input type="checkbox"/> 普段と変わったところがない <input type="checkbox"/> すぐに泣いてあやして泣きやむ <input type="checkbox"/> 哺乳・飲水・食事が可能 </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1つもない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1つでもあれば</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">心配であれば 診療時間内に受診</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">早めに病院を受診</div> </div> </div>

<p>ホームケア</p>	<p>再受診の必要性について説明を行う</p> <p>○ 再診の予約がない場合も、次のような症状を認めた際は、病院を受診してください。</p> <p>症状：傾眠（いつもの時間に起きない・うとうとしている）、頭痛・機嫌の悪さ、頻回の嘔吐（嘔吐が続く時）、手足の麻痺（歩きにくさ・動きにくさ・今まで出来ていた事ができない 例：しゃべれない、お座りできない、歩けない） 注意力の散漫、性格の変化、普段と様子がなんとなく違う</p> <p>家での過ごし方の説明を行う</p> <p>○ 4時間から72時間は、特に注意が必要な時期です。</p> <p>数日間は元気がない、顔色が悪い、吐かないか、意識状態の変化等を注意して経過をみてください。</p> <p>○ 帰宅後、状態に変化がなければシャワーは可能です。傷がある（処置を受けた）場合は、入浴を控え、シャワーや体をふいて汗を流す程度にしましょう。</p> <p>理由：入浴は体力を消耗します。疲れすぎると意識の変化に気がつきにくくなります。</p> <p>翌日からは、状態に変化がなければ入浴可能です。医師から禁止されていない場合は、洗髪も可能です。ただし傷の部分は強くこすらないようにしましょう。</p>
<p>FAQ (よくある質問)</p>	<p>Q - 1 当日は、入浴してよいのですか？</p> <p>A 入浴は体力を消耗します。疲れすぎると意識の変化に気がつきにくくなるのでシャワーにとどめましょう。</p> <p>Q - 2 たんこぶは様子を見てもよいのですか？</p> <p>A 保冷剤をタオルやハンカチに包んで、腫れている部分を冷やしましょう。</p> <p>Q - 3 たんこぶはどのくらいしたらよくなりますか？</p> <p>A たんこぶは徐々に小さくなっていきますが、数日たっても腫れが引かない場合や、さらにたんこぶが大きくなる場合は受診をしてください。</p> <p>Q - 4 ごはんを食べたり、ミルクを飲んだりしていいですか？</p> <p>A 嘔吐している場合は、落ち着いてからにしましょう。水分（お水やお茶など）を摂取しても嘔吐しないようであれば、食事やミルクの制限はありません。</p> <p>Q - 5 通園・通学はいつから大丈夫ですか？</p> <p>A 医師から特に制限がない場合は、通常の生活を送ってください。</p> <p>翌日、普段の状態と変わりがなければ、通園・通学可能です。</p>

引用 参考文献	<ol style="list-style-type: none">1. 一般社団法人日本救急看護学会：改訂外傷初期看護ガイドライン JNTEC，へるす出版，東京，20102. 樽井武彦：特集 一般外科医が知っておくべき小児患者への対応、知っておきたい疾患と治療のポイント 外傷，臨床外科，68(5),561-563,20133. 消防庁：緊急度判定プロトコル Ver.1 電話相談 http://www.fdam.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/kinkyudohantei_kensyo/03/denwasoudanprotokolv1.pdf4. 神菌敦司：ER の小児 時間外の小児救急どう乗り切りますか、頭をぶつけた子供の対応って難しい，シービーアール，東京，pp157-162,20105.荒木尚他：トロント小児病院外傷マニュアル，メディカル・サイエンス・インターナショナル，東京，20086.宮川正：疑問解決小児の診かた，小児内科・小児外科編集委員会編：東京医学社，東京，pp873-876,20117.宮川正：疑問解決小児の診かた，小児内科・小児外科編集委員会編：東京医学社，東京，pp877-880,20118.上村克徳：軽微な（生命にかかわらない）外傷，益子邦洋編，実践小児外傷初療学，永井出版，大阪，2008，pp325-3339.Maguire JL,et al:Should a head-injured child receive a head CT scan?; a systematic review ofclinical predication rules.Pediatrics124:e145-154,2009
------------	--